

「IP化の進展に対応した 競争ルールの在り方について」

情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)

会長 野間口 有

2006年2月22日

名称: 情報通信ネットワーク産業協会 (旧・通信機械工業会)

Communications and Information Network Association of Japan

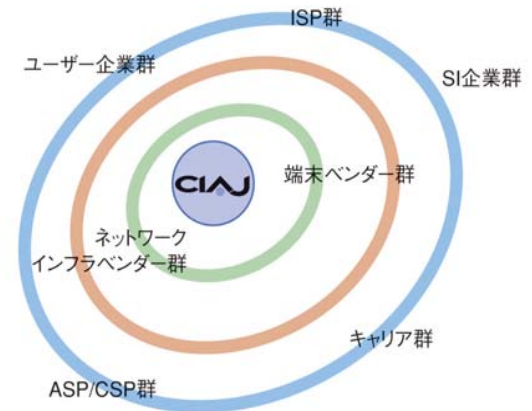
概要: 1948年 端末ベンダー/ネットワークインフラベンダーを主体に設立。
 2002年 SI企業、ユーザー企業、ISP/ASP/CSP企業を会員に加え、
 団体名称を「情報通信ネットワーク産業協会」に変更。
 現在に至る。

会員数: 327社・団体 (2006年1月現在)

主な活動:

- ・事業環境の改善
- ・事業機会の創出
- ・情報提供と発信
- ・公益活動

<http://www.ciaj.or.jp>



SI: System Integration

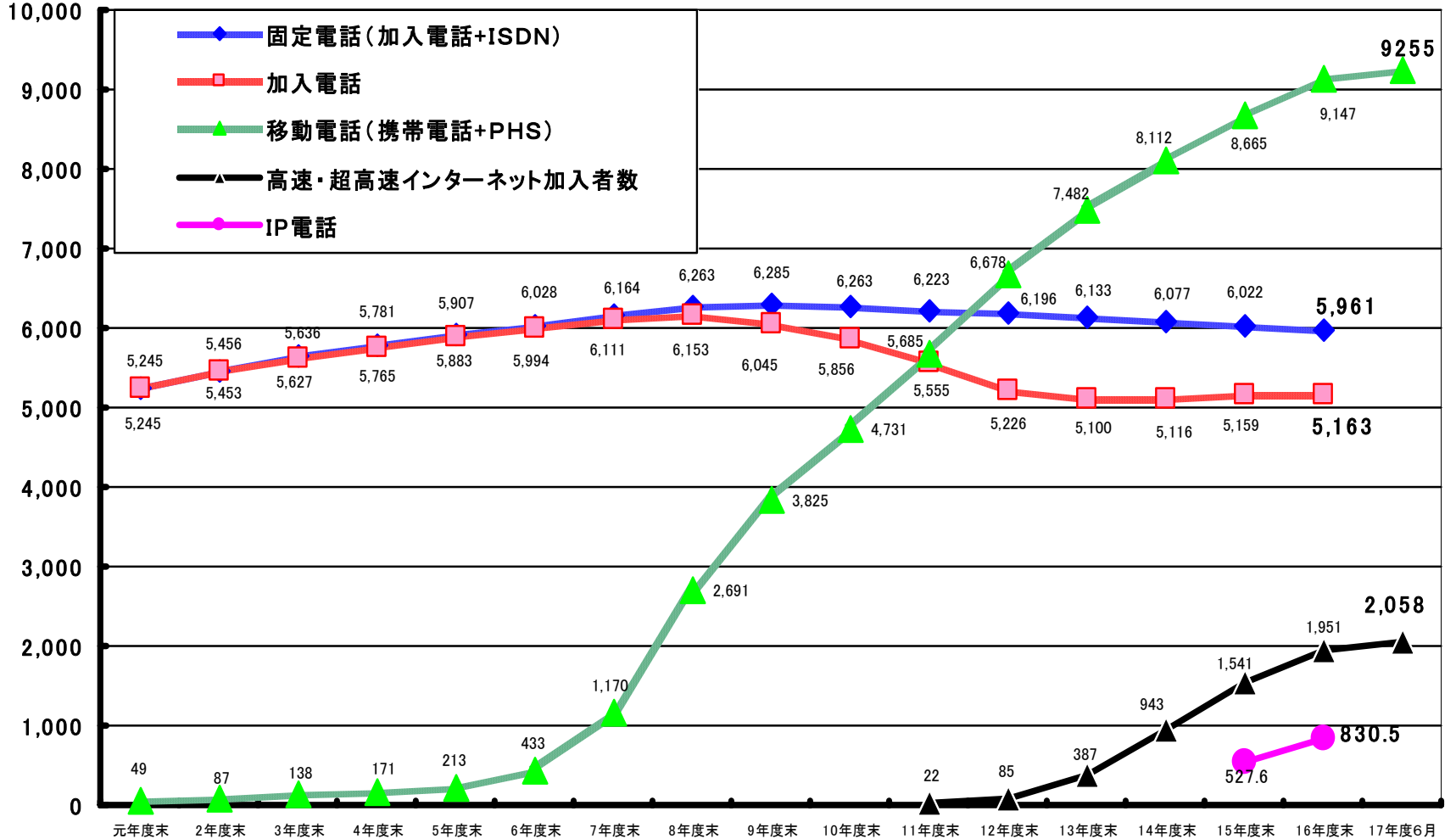
ISP: Internet Services Provider

ASP: Application Service Provider

CSP: Contents Service Provider

IP化の進展①

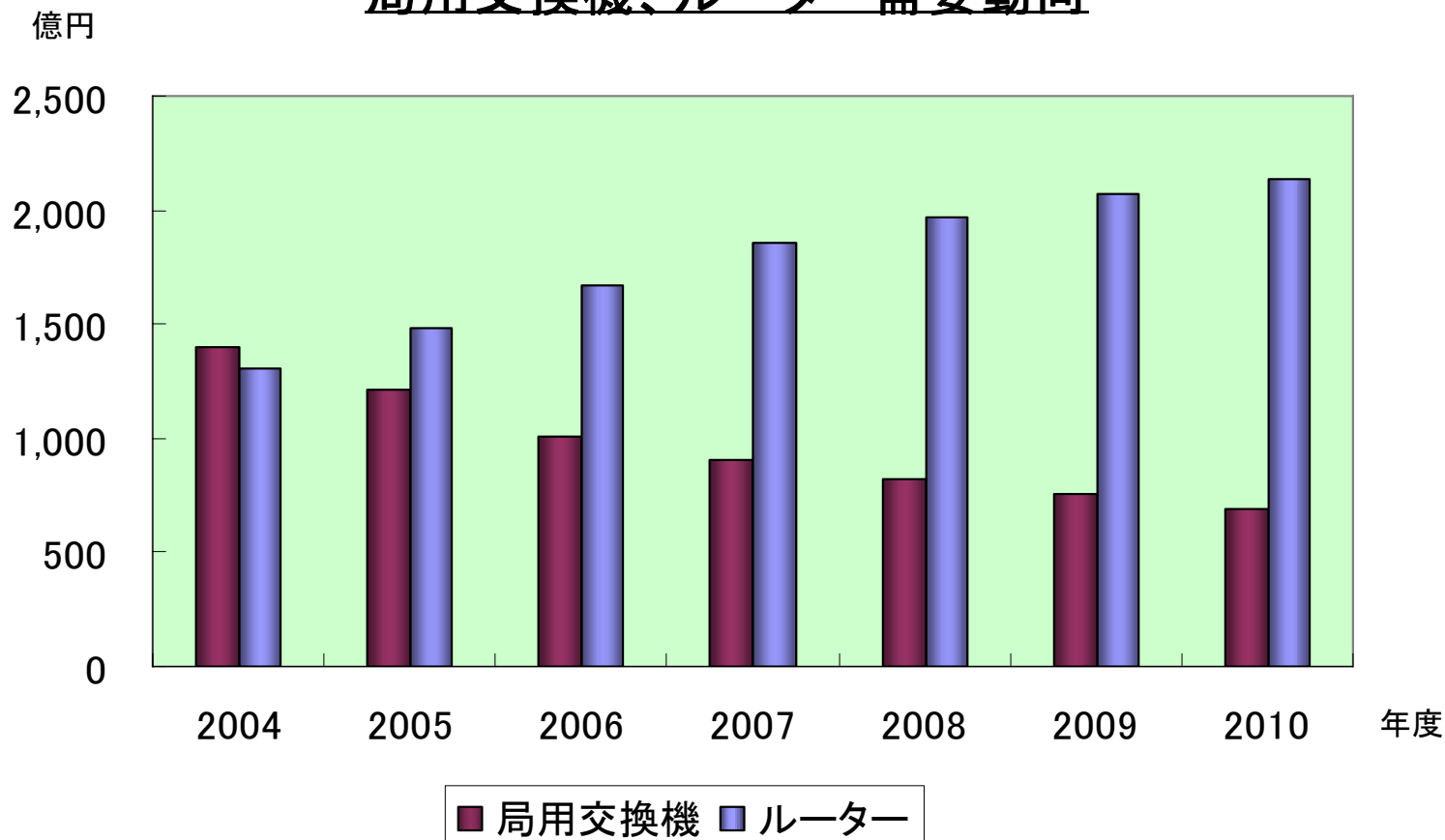
(単位:万契約)



出典:「IP化の進展に対応した競争ルールの在り方に関する懇談会」第1回会合 総務省資料より作成

IP化の進展②

局用交換機、ルーター需要動向



はじめに

1. 政策検討のこのような初期段階において、意見招請、及びヒアリングの機会を与えていただくことは、関係者間での課題の共有化、議論の透明性向上といった点から、従来にない有益な取り組みであると考えます。
2. ネットワーク構造の変化は、情報通信ネットワーク産業に多大な影響をもたらします。今回の意見招請において、CIAJは機器・システムを納入するベンダー、またサービスを受ける企業ユーザーの両方の立場から意見表明を行っております。

議論にあたって

1. 次世代ネットワークは、我が国産業全体の国際競争力強化を支える全産業／公共サービスのプラットフォームである。
2. 次世代ネットワークの構築を通して、我が国の情報通信ネットワーク産業の国際競争力強化を図る。
3. 現在高まりつつあるブロードバンドネットワークへの投資機運を維持し、早期のインフラ構築を実現する。

1. 全産業／公共サービスのプラットフォーム

- (1) 次世代ネットワークはデジタル化に次ぐ大変革
ユーザーの多様化、サービスの多彩化を支えるもの
- (2) 長期にわたり技術革新を反映できるアーキテクチャーが必須
 - ・基幹系からアクセス系へ、都市部から地方へブロードバンド化が進展
 - ・ユーザーが、事業・サービスの継続性、高度化を享受可能に
- (3) 端末機器間、端末とネットワーク間、異なるネットワーク間の相互接続とオープン性の確保
- (4) 安心・安全な社会生活の確保
 - ・災害の予知・予報、災害時の救助・復旧、災害後の事業継続に大きな役割。
 - ・テロ対策や国家安全保障のためにも、通信手段の確保が必須。
 - ・ネットワークの通信品質とセキュリティレベル確保が必要。

2. 情報通信ネットワーク産業の国際競争力強化

(1) 国際標準化活動における主導権確保と実現の推進

- ・日本が強みを有する技術を盛りこんだ次世代ネットワークの国際標準化と国内での市場導入、国際市場への展開が必要。
- ・国際標準化活動で日本が主導的な立場をとれるよう、国/通信事業者/ベンダーの連携。

(2) 国際協力の推進と人材の育成

- ・ITU等国际活動への参加、アジア内各国との連携。
- ・標準化を専門とする人材の育成等が重要
(産官学のシニアエンジニアの活用も有効)。

(3) 研究開発の推進

- ・国際標準化に資する日本が強みを有する技術開発のためにも、産官学が連携した研究開発の推進が必要。
- ・通信事業者とベンダーが連携した研究開発の推進。
- ・政府研究開発投資における情報通信予算の強化。

※我が国の国際競争力について、検討の場を設けてみてはいかがでしょうか。

3. 早期のインフラ構築

(1) インフラ整備の積極的推進

- ・現在、高まりつつあるブロードバンドネットワークへの投資機運の維持。
- ・過去の資産やノウハウを活かし、経済的合理性に沿ったインフラ整備。

(2) 公平性・透明性の確保

- ・接続料金、インフラ使用等における事業者間の公平で健全な競争が肝要。

 我が国の通信ネットワークの変革が歩みを緩めることなく進展。

おわりに

1. CIAJは「通信機器、システムベンダーを中核会員とする産業団体」として、情報通信ネットワーク産業全体が将来に亘って健全に発展することを望んでおります。
2. さらに、我が国における情報通信ネットワーク産業の国際競争力強化に向け、国家的観点からの統合的な政策展開の推進と、その一環として研究開発の促進、国際標準化などに関わる政策の一層の強化をお願いいたしたく存じます。
3. 最後に、本日直接意見を述べる機会を設けていただき、CIAJを代表して感謝申し上げます。こうした趣旨を踏まえた懇談会での検討が引き続き図られることを期待しております。